

The background of the slide is a reproduction of Leonardo da Vinci's 'The Last Supper' fresco. It depicts Jesus Christ seated at the center of a long table with twelve apostles in a room with a coffered ceiling and several windows. The scene is captured in a dramatic, low-key lighting.

西洋美術史ゼミ

第20回

現代における美術

発表者 あまずん

発表者について

あまずん

Twitter : @quii_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

理系の大学生 (数学科) です。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について
興味があります。



ゼミについて

- 週1回程度で美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- また、高校世界史に沿う形で当時の出来事についても説明します。
- そのため、世界史と美術史を同時に学ぶことができるため、歴史が好きな方も美術が好きな方も学びを深めることができます。



前回の内容(1)

- 60年代後半に**コンセプチュアル・アート**が興り、美術作品の観念性は極地に達した。極めて精緻な**スーパーリアリズム**もこの流れを受けたものである。
- **シュポール／シュルファス**は絵画を様式から解放し、**アルテ・ポーヴェラ**や**もの派**は素材を素材のまま提示した。
- 広大な大地に作品を描く**アース・ワーク**が作られ、作品は必ずしも美術館やギャラリーに留まるものではなくなった。



By Tony Godfrey, Conceptual Art, London: 1998, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=6981637>

コース 《1つおよび3つの椅子》

前回の内容(2)

- 禁欲的な潮流への反発から**新表現主義**の運動が起こり、具象絵画が再び注目を集めた。**グラフィティ**が表現として注目され始めたのもこの頃である。
- 80年代から**アプロプリエーション**の手法が使われるようになり、イメージを「盗用」することによりコンテキストをかき乱した。



ジェフ・クーンズ 《Rabbit》

本日の内容

世界史について

- 現代の世界

美術について

- 90年代の美術
 - マルチカルチュラリズム
 - コンセプチュアリズムの展開
 - 90年代の映像表現
- 21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - アジアの台頭
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

全体の概略

- 東西冷戦が終わり、**東側諸国の民主化やグローバル化**が進んだ。しかし、これは**経済格差**を生む要因ともなった。
- 今回は**90年代～現在（～2012程度）までの美術**を扱います。90年代以降は**特定の名称で括れるような潮流が無くなっていき**、表現方法も個々人によって異なるものとなります。
- この時代の美術はまだ「歴史」として確立されたとは言い難く、その評価や位置づけも定まってはいません。そのため多少込み入った話題があります。また内容もかなり詰め込んだのでまともに読むとかなり大変ですが、軽い気持ちで眺めてもらって、今後の展示などで「なんか名前見たことあるかも」くらいに思ってもらえればと思います。

本日の内容

- **世界史：現代の社会**
- 美術史：90年代の美術
 - マルチカルチュラリズム
 - コンセプチュアリズムの展開
 - 90年代の映像表現
- 美術史：21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - アジアの台頭
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

現代の社会: CONTENTS

- ① 東欧の民主化
- ② ソ連の解体
- ③ 通商の自由化
- ④ アジア社会主義の変容
- ⑤ 南北・南南問題
- ⑥ 20世紀の科学と文化



ベルリンの壁

東欧の民主化

- 米ソ間の緊張緩和を推進したソ連の**ゴルバチョフ**は、冷戦終結直前の1988年に**東欧社会主義圏への内政干渉を否定した**。
- ポーランドでの**ワレサ**を指導者とした改革を発端として**東欧の自由化**が進んだ。89年に**ベルリンの壁が解放**され統一ドイツが実現されるなどして、結果的に91年に東欧社会主義圏が消滅した。



英語版ウィキペディアのLear 21さん, CC 表示-継承 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=3692038>
による

壁の崩壊に歓喜するベルリン市民

ソ連の解体

- ゴルバチョフによるソ連の改革を**ペレストロイカ**と呼ぶが、彼が大統領に選出された90年から**ソ連の市場経済への移行**が始まった。
- 東欧における急速な民主化も影響し、91年8月に連邦を結び付けていた**ソ連共産党が解散**し、同年12月にロシア連邦、ウクライナ、ベラルーシなど11の共和国が**独立国家共同体（CIS）**を結成し、**ソ連邦は解体**した。



独立国家共同体の旗

通商の自由化

- 90年代の社会主義圏の崩壊後、**経済のグローバル化**が顕著にみられ、**貿易量の増加**や**多国籍企業の活発化**が起こった。
- しかし、技術の発展などから既存の枠組みでは処理できない問題が起こり、これを解決するために**WTO** (**世界貿易機関**) が設立された。
- また、グローバリズムの発展とともに各地で**地域主義的な動き**も見られ、**EU** (欧州連合) や**NAFTA** (北米自由貿易協定)、**ASEAN** (東南アジア諸国連合) などが発足した。



EUの旗

アジア社会主義の変容(の前に)(1)

- 時代が前後するが、60年代の**ベトナム戦争**と中国の**文化大革命**についてまず扱う。
- 60年代初頭、南北に分断されていたベトナムでは、南ベトナムの政権が独裁色を強める中で**南ベトナム解放民族戦線**が結成され、北ベトナムと連携してゲリラ戦を展開した。
- **北ベトナムの共産党政権が南に及ぶことを警戒した**アメリカは南ベトナムを支援し、**ベトナム戦争**が始まった。



爆弾を投下するアメリカ空軍のボーイング
B-52戦略爆撃機

アジア社会主義の変容(の前に)(2)

- 米軍は最新兵器を駆使して大規模な地上戦、空爆を繰り返したが、ソ連・中国の支援を受けた北ベトナムと南ベトナム解放民族戦線はもちこたえ、**戦局は泥沼化した**。
- 合衆国の軍事介入は合衆国内の世論を二分させ、**国際的にも多くの批判を受けた**。これに加え財政赤字などからアメリカは撤退せざるを得なくなり、**アメリカは歴史上初の敗戦を喫した**。
- その後75年に北ベトナムが南北を統一し、**ベトナム社会主義共和国が成立した**。



Roy Kerwood - Originally uploaded to English Wikipedia by Roy Kerwood, CC 表示 2.5,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=44122819>
による

反戦パフォーマンス《ベッド・イン》を行うジョンレノンとオノ・ヨーコ

アジア社会主義の変容(の前に)(3)

- 49年に**毛沢東**を主席とする**中華人民共和国**が成立し、ソ連と共に社会主義圏に属していた。
- 中国は50年代前半に戦前の農工業生産額を超えたが、やがて**強引な工業化や農業集団化や共産党支配への批判**が現れた。毛沢東は批判勢力に反撃し、急激な社会主義建設を目指す「**大躍進**」運動を進めた。
- しかし、労働者や農民の疲弊に自然災害が重なり、多数の餓死者を出し失敗に終わった。

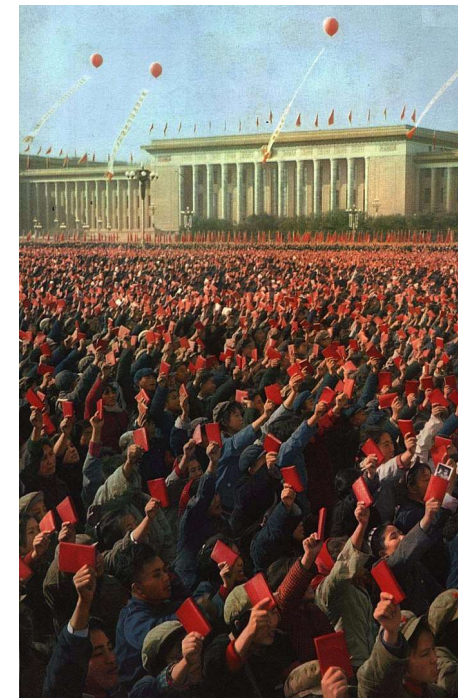


張振仕 - Intermediate source:
<https://www.flickr.com/photos/richardfisher/3451116326/>, CC
表示 2.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=7614080>
による

毛沢東

アジア社会主義の変容(の前に)(4)

- 59年に毛沢東に代わって**劉少奇**が国家主席となり、経済政策を見直した。
- 一方、権力を失っていた毛沢東は、当時権力の中枢にいた**劉少奇**や**鄧小平**などを**非難**し、**プロレタリア文化大革命**という新たな革命運動を呼びかけ指導力の回復を図った。
- この革命は階級闘争を主張したものであり、**紅衛兵**など若い世代が中心の団体が動員され、全国で**政治家や官僚をはじめ多くの知識人が批判、追放**された。
- 結果として毛沢東の権力回復は成功したが、中国国内は大混乱に陥った。



天安門広場で毛主席語録を掲げる紅衛兵

アジア社会主義の変容(1): 中国

- 中国では文化大革命終了後、失脚から復帰した**鄧小平**を中心に新指導部が成立した。
- 鄧小平らは**開放経済**などの**経済改革**（**社会主義市場経済化**）を行ったが、急速な改革への不満が学生や青年労働者、学者の間で広がった。そして、1989年に**100万人規模の民衆が天安門広場に集まり民主化を要求したが、政府はこれを武力で弾圧した**。これを（**第二次**）**天安門事件**と呼ぶ。
- この事件で中国は国際世論の批判や経済制裁を受けることとなるが、政策には変化が無かった。



By Jiří Tondl (Blow up) - Own work, CC BY-SA 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=6812523>
6

天安門事件でデモを行う学生

アジア社会主義の変容(2)

- 南北統一後の**ベトナム**は、南部の社会主義化をめぐる混乱などで経済活動が低迷し、南部から船で脱出する人々が難民となったために国際的批判を浴びた。しかし、86年の「**ドイモイ**」(**刷新**)政策のもとに緩やかな市場開放に向かい経済状況は好転している。
- カンボジアなども含めた**アジアの社会主義国の多くは開放体制に移行したが**、**北朝鮮**では**独自の閉鎖的社会主義体制を維持している**。

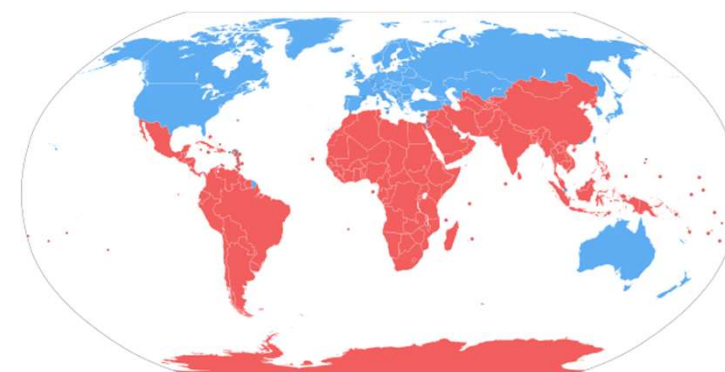


By Tokeisan at Vietnamese Wikipedia, CC BY-SA 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=44998436>

ドイモイにより急速に近代化した
ホーチミン

南北・南南問題

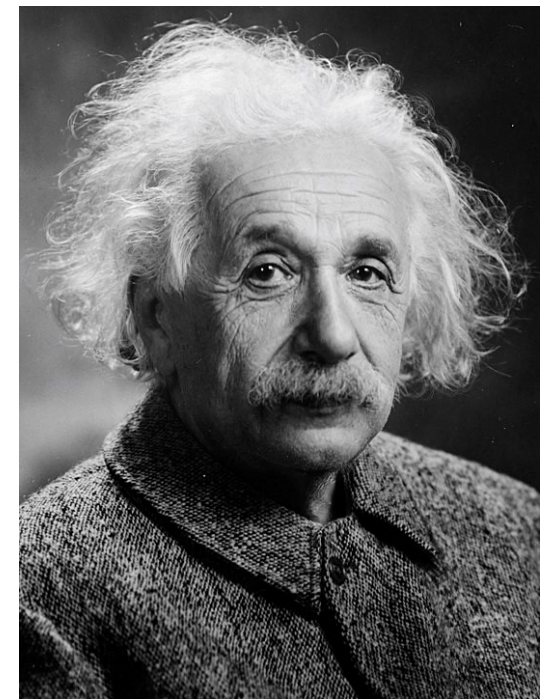
- 現代における国家間の経済格差問題として、**南北問題**と**南南問題**がある。
- その名の通り、世界地図の**北側に先進工業国が、南側に発展途上国が多い**ことを**南北問題**と呼び、この国家間の格差を解決することが人類全体の課題である。
- **南南問題**はより局所的に、南側の国々で**工業力の発展や資源の保有などにより豊かになった国家とそうでない国家間**での格差を表す。



グローバル・ノースとグローバル・サウス

20世紀の科学(1)

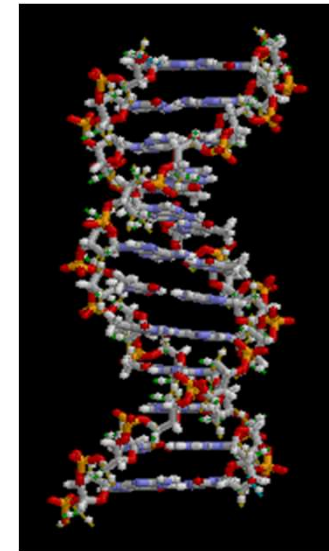
- 科学技術は20世紀に飛躍的な進歩を遂げ、先進国の人々が豊かな生活を享受できるようになる。グローバル化が進んだ反面、途上国との格差が広がった。
- 物理学では**相対性理論**や**量子力学**などにより、時間と空間の認識が変化した。さらに、工学では**ライト兄弟**が**飛行機**を発明し、やがて**ジェット機**や**ロケット**、**人工衛星**などにも発展する。



アインシュタイン

20世紀の科学(2)

- そして、インターネットをはじめとする情報通信技術が飛躍的に発達した。これを**IT革命**と呼ぶ。
- また、生物学・医学の分野では**DNA**の発見が大きな進展をもたらし、遺伝子操作などによる動植物の品種改良などが可能になった。
- また、**ペニシリン**をはじめとする**抗生物質**が普及し、伝染病の治療に効果を発揮した。
- しかし、科学技術の進展は環境破壊を伴って行われたものであり、**環境保護**の運動も盛んになっている。



DNAの二重らせん構造

20世紀の文化(1)

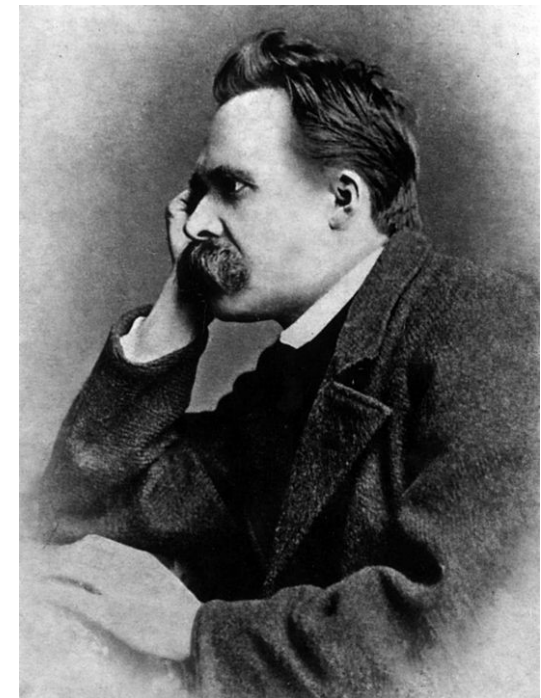
- 近代ヨーロッパの思想は**合理的精神をもった個人の自立が前提**となっていたものだったが、20世紀になると巨大組織の登場や戦争の多発などにより、**個人の孤立や非合理的感情の高まりが強く意識される**ようになった。
- そのため、いわゆる現代思想は**ヨーロッパ近代への批判や懐疑**を特徴とするものが多い。



ウィットゲンシュタイン

20世紀の文化(2)

- 以下に思想潮流と思想家を挙げる。
- 1. **実存主義**：主体性の回復（ニーチェ、ハイデガー、ヤスパースなど）
- 2. **プラグマティズム**：行為の結果を重視（デューイ、パースなど）
- 3. **構造主義**：人間を規制する見えない構造（レヴィ＝ストロースなど。ポスト構造主義はデリダやフーコー）
- 4. **分析哲学**：哲学の明晰化（ウィトゲンシュタイン、ラッセル、クワインなど）
- 5. **現象学**：実在とは何か（フッサール、メルロ＝ポンティイ）
- 6. **正義論**：正義とは何か（ロールズ）
- 7. **心理学**：無意識の発見（フロイト、ユング）



ニーチェ

20世紀の文化(3)

- また、20世紀は「**大衆の時代**」でもあった。
- 1920年代に自動車やラジオ、映画が普及すると**大衆文化が成立した**。こうして「文化」が知識人や教養を持つもののみに限られず、不特定多数の大衆が影響を持つようになり、**ポップ・カルチャー**が生まれた。



Coolcaesar - 投稿者自身による著作物, CC 表示-継承 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=52572750>
による

ディズニー本社

本日の内容

- 世界史：現代の社会
- 90年代の美術
 - **マルチカルチュラリズム**
 - コンセプチュアリズムの展開
 - 90年代の映像表現
- 21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - アジアの台頭
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

マルチカルチュラリズム(1)

- 東西冷戦の二極構造が崩壊し、**従来の西洋中心主義的な価値観が見直された。**
- この視点は美術においてはモダニズム芸術観の克服という形で顕在化し、**アジア・アフリカの第三世界出身の作家が脚光を浴びた。**これが美術における**マルチカルチュラリズム**（**多文化主義**）である。



引用元：<https://www.cinra.net/article/review-20150707-caiguoqiang>

蔡國強 《夜桜》

マルチカルチュラリズム(2)

- マルチカルチュラリズムの現れとして象徴的なのは89年に開催された「**大地の魔術師たち**」展である。
- この展示は**西洋と非西洋の作家を全く平等に「現代美術」として並置しようとする**ものであった。出典作すべてに作家名を表記したり、人数も半々にすることなどの試みを行うことで、**ヨーロッパ中心主義を問い直し、マルチカルチュラリズムの議論を深めた。**



引用元：<https://www.afterall.org/project/magiciens-de-la-terre-1989/explore-magiciens-de-la-terre-1989/>

「大地の魔術師たち」展

ポスト・コロニアリズム

- マルチカルチュラリズムのような価値の多様化の受容は**ポスト・コロニアリズム**（**ポスト植民地主義**）とも共鳴するものだった。
- ポスト・コロニアリズムは西洋を中心とするかつての**帝国主義、植民地主義への反省的な態度**を意味する。
- 植民地主義により生来の居住地を離れた人々やその子孫は**ディアスポラ**と呼ばれるが、彼らの作品はアイデンティティや自らの存在の不安定さという問題と密接に関わっていることも多い。



BradPatrick at en.wikipedia, CC 表示-継承 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=2127972>
による

アニッシュ・カプーア 《Sky mirror》
(インド出身だがイギリスへ移住した。)

本日の内容

- 世界史：現代の社会
- 90年代の美術
 - マルチカルチュラルリズム
 - **コンセプチュアリズムの展開**
 - 90年代の映像表現
- 21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - アジアの台頭
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

コンセプチュアリズムの展開(1)

- マルチカルチュラリズムの浸透により多様な価値観を受容しようとする態度が生まれ、**文化的「他者」への関心が高まった。**
- これにより、**文化人類学や民俗学**の知見を援用した手法を用いた作品が作られた（**「民族史家としてのアーティスト」**）ほか、**ジェンダークィア**へのなど、「他者」への視点が提供された。

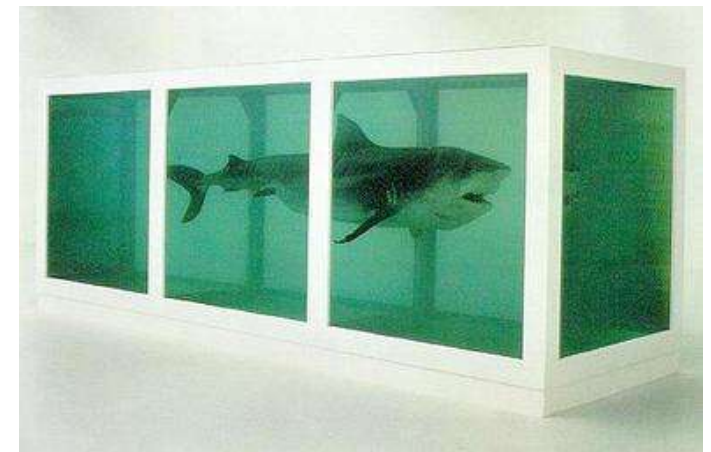


Felix Gonzalez-Torres Foundation 「Candy Works」 .
<https://www.felixgonzalez-torresfoundation.org/works/c/candy-works> (参照:
2022年9月8日)

フェリックス・ゴンザレス＝トレス
"Untitled" (Lover Boys)

コンセプチュアリズムの展開(2)

- また、このような「他者」への関心の高まりと並行して、**美術と日常がより素朴に接近する**ようになる。
- 普遍的理念やイデオロギーの消滅は、**美術が個々の作家の表現行為に還元される多元的状况**を生み出し、現在の美術界にも受け継がれている。



By bloggers.it April 6, 2006, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4651381>

ダミアン・ハースト

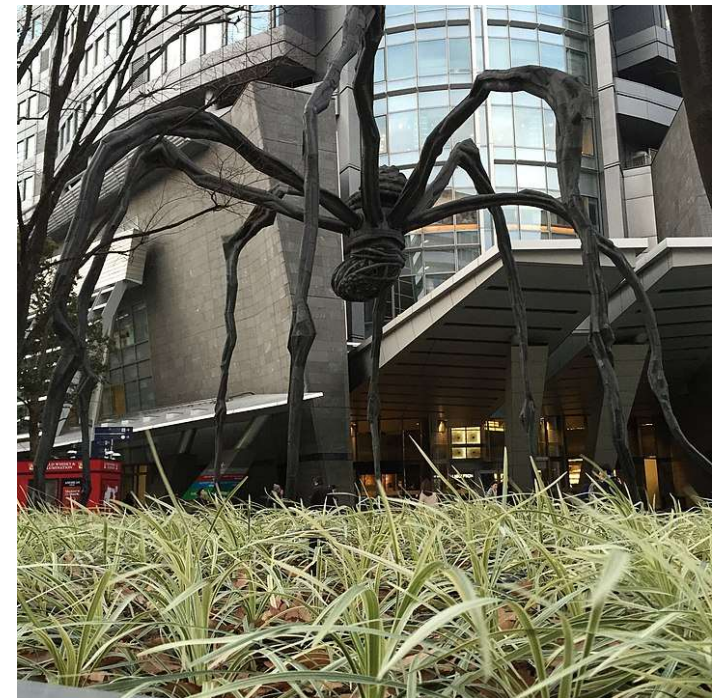
《生者の心における死の物理的不可能性》

コンセプチュアリズムの展開

- 以下の項目に分けて扱う。
 - ① セクシュアリティとアート
 - ② YBAs
 - ③ 現実への回帰

セクシュアリティとアート(1)

- 多様な価値観を受容しようとする態度は社会文化的位相にも及び、フェミニズム、ジェンダー、エイズ、ホモセクシュアル、マイノリティなど、「他者」への視点が提供された。
- ジュディ・シカゴや前述したオノ・ヨーコを先駆とするフェミニスト・アートは現代美術の重要な一部となり、男性作家に関してもフェリックス・ゴンザレス＝トレスなどがエイズなどの身体に関する作品を制作した。



====UT==== -
<https://web.archive.org/web/20161101101213/http://www.panoramio.com/photo/124281575>, CC 表示-継承 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=60095310>による

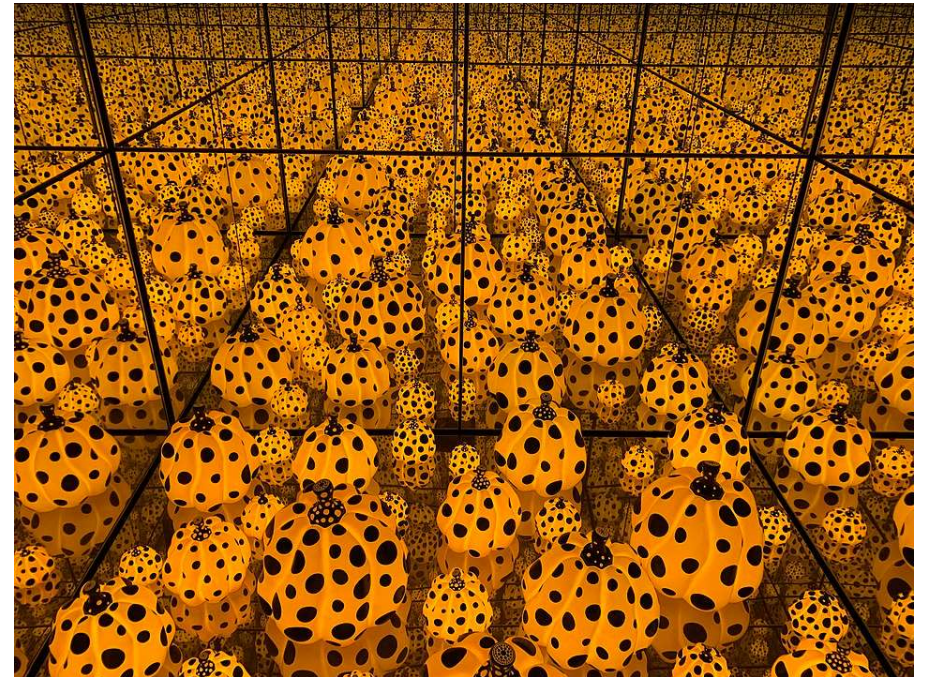
ルイーズ・ブルジョワ 《Maman》
(六本木ヒルズ)

セクシュアリティとアート(2)



By Photographed by Arthistorygrrl, CC BY 3.0,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=33826981>

ジュディ・シカゴ 《ザ・ディナー・パーティー》



By Ncysea - Own work, CC BY-SA 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=113201222>

草間彌生 《The Spirits of the Pumpkins Descended into the Heavens》

セクシュアリティとアート(3)



ゲリラ・ガールズ

《DO WOMEN STILL HAVE TO BE NAKED TO GET INTO THE MET. MUSEUM?》

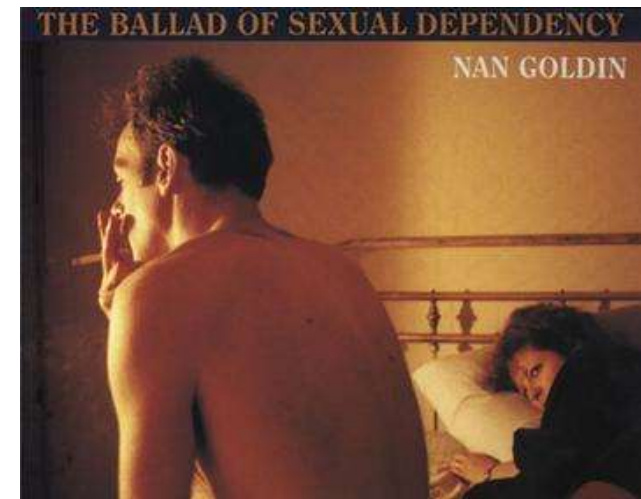
引用元：<https://www.guerrillagirls.com/naked-through-the-ages>

セクシュアリティとアート(4)



By Amazon.com, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=3113385>

フェリックス・ゴンザレス＝トレス 《無題》

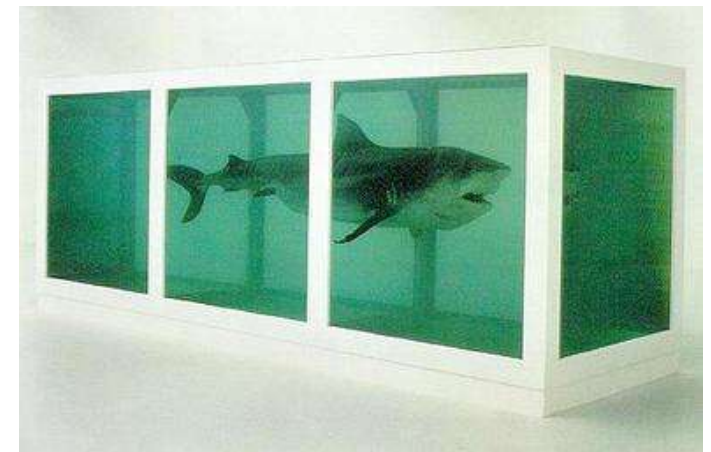


By Amazon.com, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=3113385>

ナン・ゴールドイン 《性的依存のバラード》

YBAs(1)

- 90年代に最も話題となったのは**YBAs**（**ヤング・ブリティッシュ・アーティスト**）と呼ばれたイギリスの若手芸術家たちである。
- 彼らは（画廊でも美術館でもない）倉庫跡などの**オルタナティブ・スペース**を中心に活動し、不用品や動物などの素材を使いショッキングな作品を多く展示した。
- **ダミアン・ハースト**が最も有名だが、ほかに**トレイシー・エミン**や**クリス・オフィリ**などがいる。



By bloggers.it April 6, 2006, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4651381>

ダミアン・ハースト

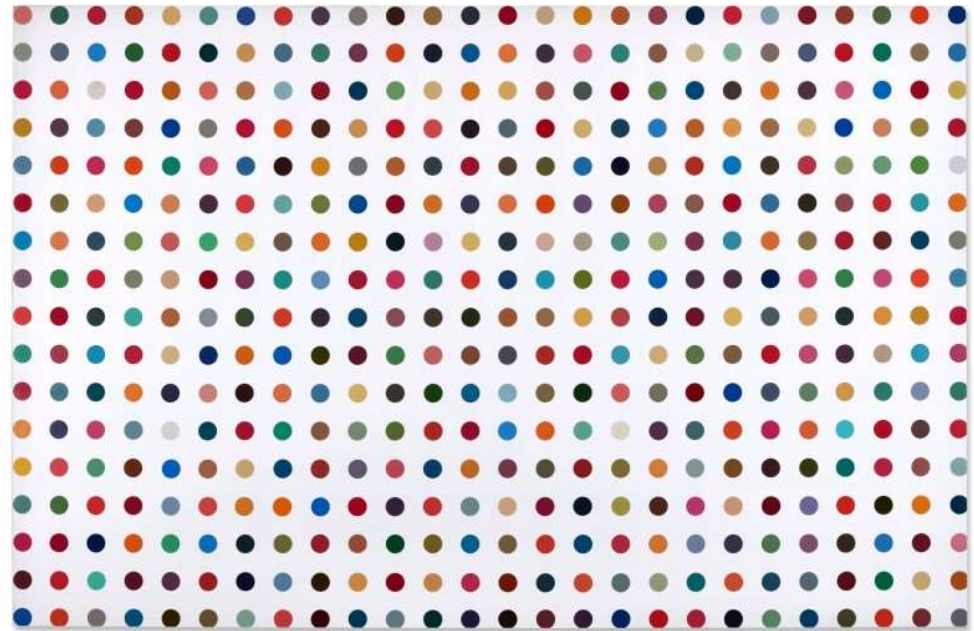
《生者の心における死の物理的不可能性》

YBAs(2)



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=13271224>

ハースト 《For the Love of God》



引用元：<https://www.sothebys.com/en/buy/auction/2021/british-art-modern-contemporary/biotin-propranolol-analog>

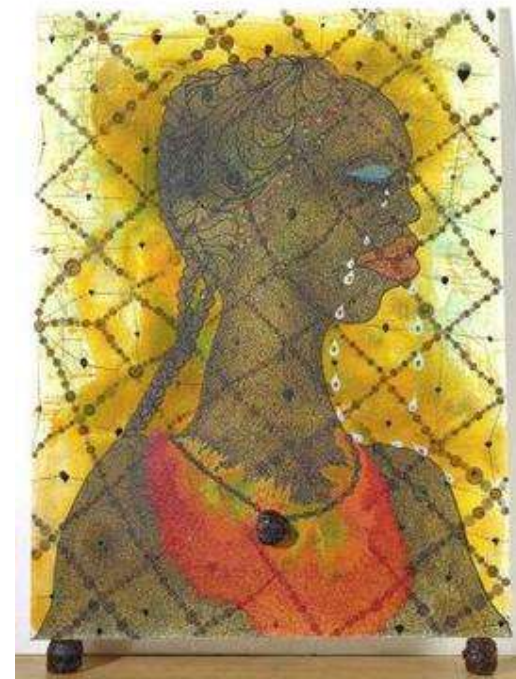
ハースト 《Biotin-Propranolol Analog》

YBAs(3)



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=11854210>

トレイシー・エミン 《My Bed》



By Tate website, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4898461>

クリス・オフィリ 《No Woman No Cry》

現実への回帰(1)

- 身体や「他者」への関心の高まりと並行して、**美術と日常がより素朴に接近する**ようになった。
- 身近な現実への回帰は**美術の商業化への批判**である以上に、高度に発達し肥大化した**テクノロジーがもたらす新たな人間疎外に対する反応**ともいえる。
- 日常的な事物を用いて行った**ガブリエル・オロスコ**や美術と生活の融合を試みた**アンドレア・ツイッテル**などにこの傾向が見られる。



引用元：<https://www.kurimanzutto.com/artists/gabriel-orozco#tab:slideshow;slide:8>

ガブリエル・オロスコ 《la ds》

現実への回帰(2)



アンドレア・ツィッテル 《Time Trial》

引用元 : <https://www.zittel.org/projects/time-trials/>

本日の内容

- 世界史：現代の社会
- 90年代の美術
 - マルチカルチュラルリズム
 - コンセプチュアリズムの展開
 - **90年代の映像表現**
- 21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - アジアの台頭
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

90年代の映像表現(1)

- ナム・ジュン・パイクによって創始された**ビデオ・アート**は90年代後半に入り急速に普及した。
- 機器の低コスト化やデジタル技術の普及などがその背景にあるが、単にそれだけではなく、**絵画や彫刻と**
いった旧来の形式では表現しきれないものを表現したいという欲求や**モダニズムの見直し**といった考え方の根本的な変化も一因である。



引用元：

http://www.cremaster.net/cremaster4_characters.htm

マッシュ・バーニー 《クレマスター4》

90年代の映像表現(2)

- このような変化により、芸術家はそれまでの美術に**支配的だった抽象性**や**観念性、非意味性**から、**再現性、物語性、意味性を追求**するようになる。
- こうした動向は**ピピロッチェ・リスト**や（前回も少し触れたが）**マッシュ・バーニー**などに顕著である。



引用元：https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/matthewbarney_news_20220711

マッシュ・バーニー 《クレマスター3》
(場面写真)

90年代の映像表現(3)

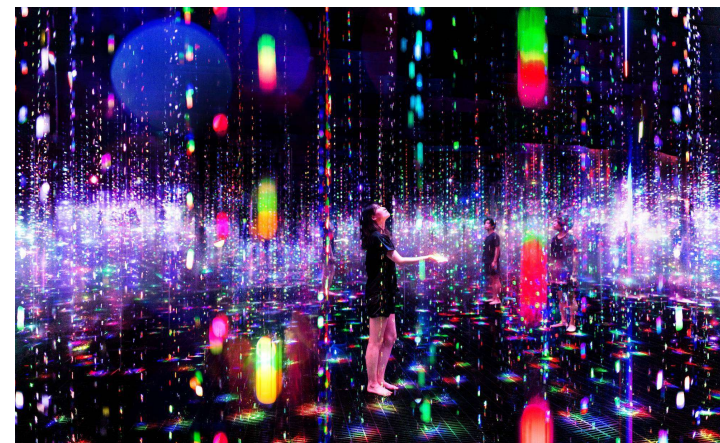


ピピロッティ・リスト 《Ever is Over All》

引用元 : https://youtu.be/a56RPZ_cbdc

メディアアート

- コンピューター・グラフィックスやバイオテクノロジーなど、**新しい技術的発明**を利用した作品を**メディアアート**と呼ぶ。
- 傾向は極めて多岐にわたるが、**アルス・エレクトロニカ**（オーストリア）や**SIGGRAPH**（アメリカ、アジア諸国）、（先日令和4年度の募集を行わないことが告知されたが……）**文化庁メディア芸術祭**（日本）などのイベントが盛んに行われており、現在注目を集めている分野である。



引用元：
https://www.teamlab.art/jp/w/ephemeral_solidified_light/

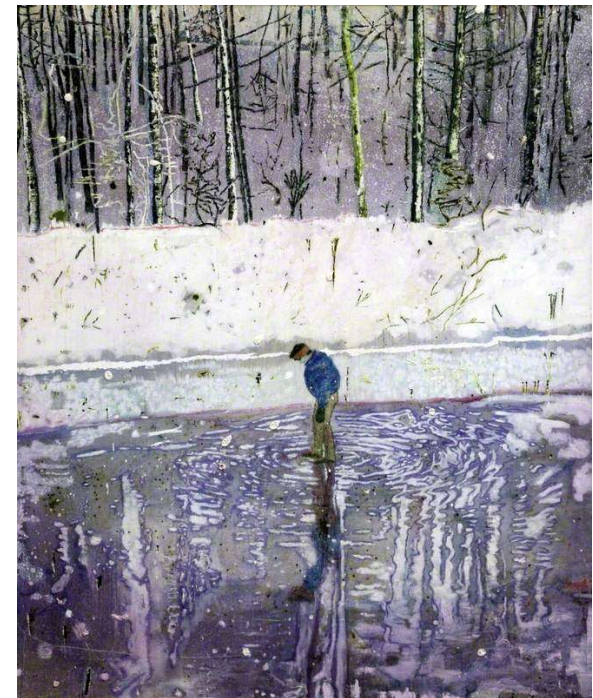
チームラボ 《生命は結晶化した儚い光》

本日の内容

- 世界史：現代の社会
- 90年代の美術
 - マルチカルチュラルリズム
 - コンセプチュアリズムの展開
 - 90年代の映像表現
- 21世紀の美術
 - **90年代からの継承と展開**
 - アジアの台頭
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

21世紀の美術

- 2000年代の美術は**ミレニアム（千年紀）**という耳慣れない言葉と共に祝祭めいたムードで始まった。
- しかし、2001年9月11日の**アメリカ同時多発テロ事件**で幸福感はかき消され、人々は厳しい現実を直視させられることとなる。
- また、グローバル化の流れのなかで**アート・マーケットは膨張を続ける**が、それに反発するかのよう**にコンセプチュアルな傾向を強く打ち出す**作家が数多く登場した。

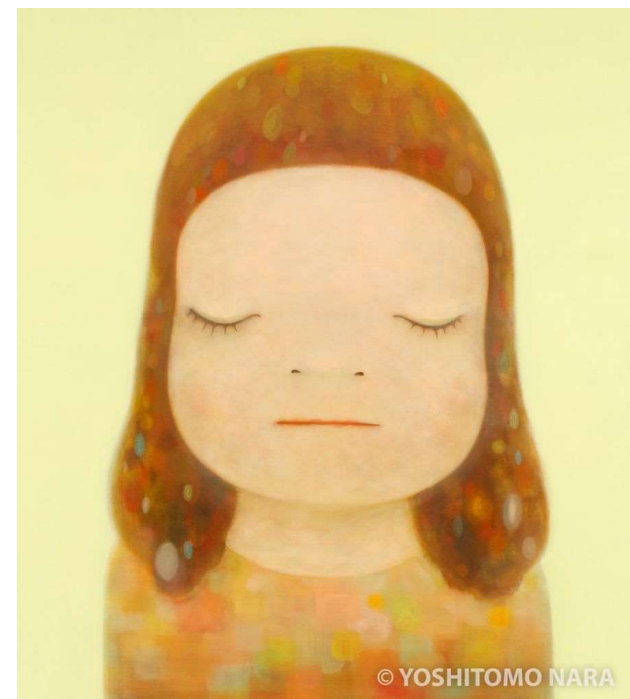


引用元：<https://artuk.org/discover/stories/write-on-art-blotter-by-peter-doig>

ピーター・ドイグ 《Blotter》

90年代からの継承と展開(1)

- モダニズムの理念や規範の無効化が徐々に浸透する中、もっとも多彩かつ豊穡な展開がなされたのは絵画においてだった。
- 90年代後半からはリュック・タイマンズやピーター・ドイグ、エリザベス・ペイトンなどの具象作家が活躍し、00年代に入って村上隆や奈良美智、ママ・アンダーソンなどの絵画が注目された。
- また、絵画以外ではピエール・ユイグやオラファー・エリアソンなどが目覚ましい活躍をした。



引用元：
<https://www.yoshitomonara.org/ja/catalogue/YNF6677/>

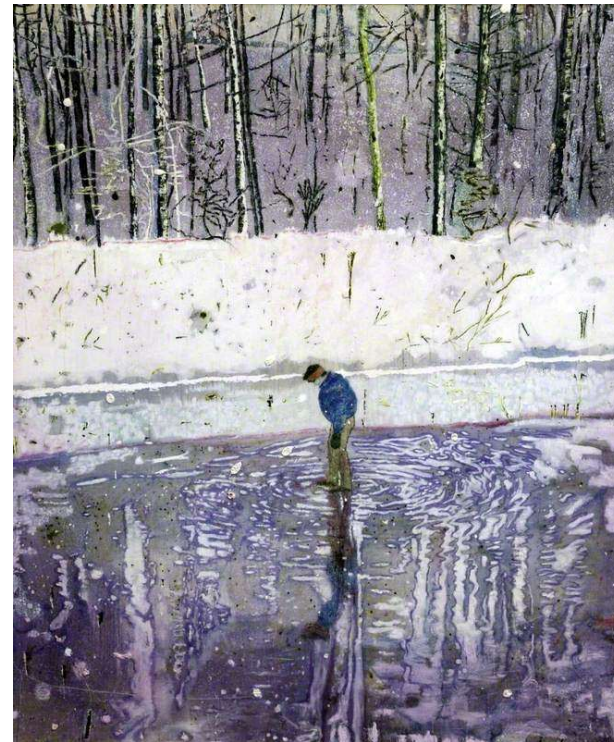
奈良美智 《Peace of Mind》

90年代からの継承と展開(2)



By Luc Tuymans - Luc Tuymans, CC BY-SA 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=87854258>

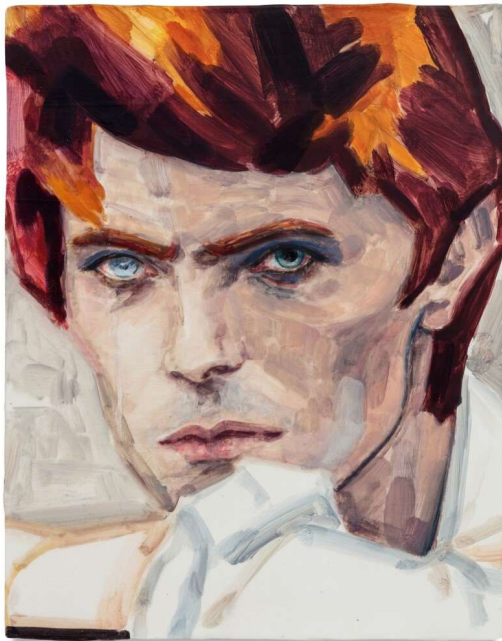
リュック・タイマンス 《ルムンバ》



引用元：<https://artuk.org/discover/stories/write-on-art-blotter-by-peter-doig>

ピーター・ドイグ 《Blotter》

90年代からの継承と展開(3)



引用元：
<https://www.sothebys.com/en/buy/auction/2021/contemporary-art-evening-auction/david-bowie?locale=en>

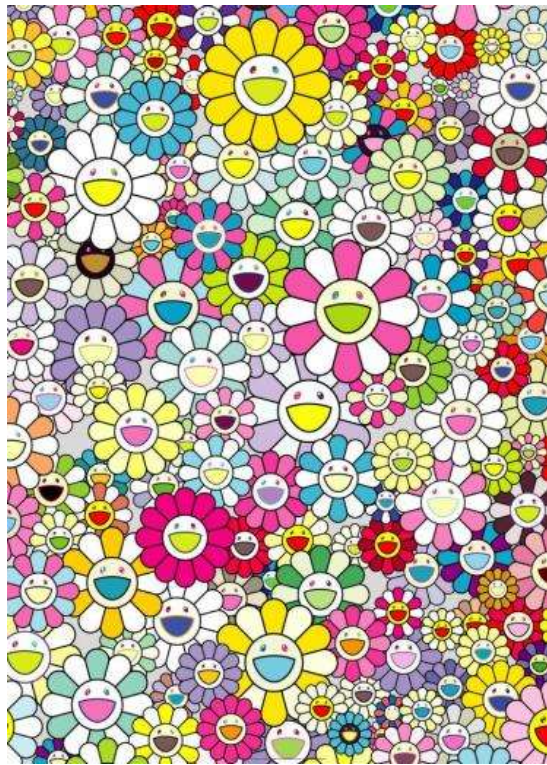
エリザベス・ペイトン
《David Bowie》



引用元：<https://www.303gallery.com/artists/karen-kilimnik?view=slider>

カレン・キリムニック
《The cat sitting in its favorite basket out in the blizzard, the Himalaya》

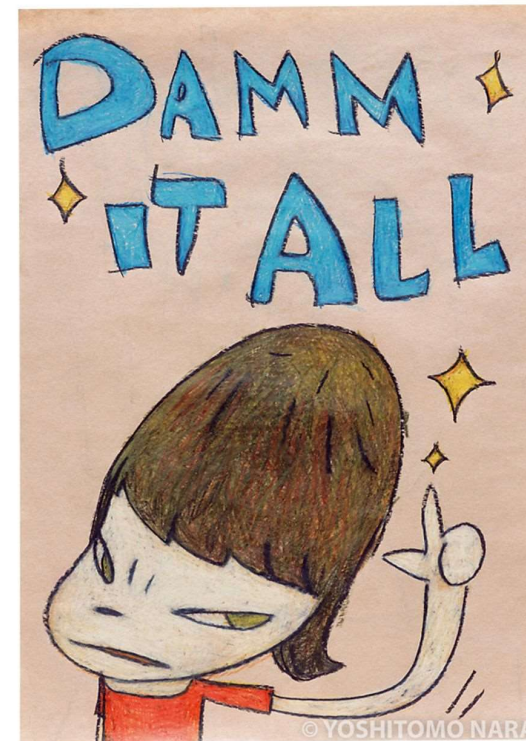
90年代からの継承と展開(4)



引用元：https://www.tagboat.com/products/detail.php?product_id=66410

村上隆

《シャングリラーシャングリラーマルチカラー》



引用元：<https://www.yoshitomonara.org/ja/catalogue/YNF4488/>

奈良美智

《Damn It All》

90年代からの継承と展開(5)



引用元：<https://www.stephenfriedman.com/artists/26-mamma-andersson/>

ママ・アンダーソン
《The Weakening Eye of Day》



引用元：<https://www.hauserwirth.com/artists/2803-wilhelm-sasnal/#images>

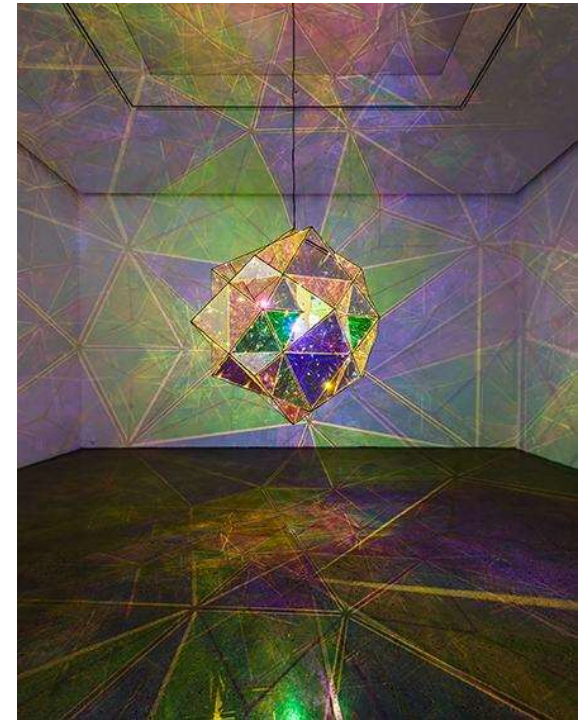
ヴィルヘルム・サスナル
《Palm Bay》

90年代からの継承と展開(6)



引用元：<https://www.hauserwirth.com/artists/2839-pierre-huyghe/>

ピエール・ドイグ 《Variants》



引用元：<https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/olafur-eliasson/>

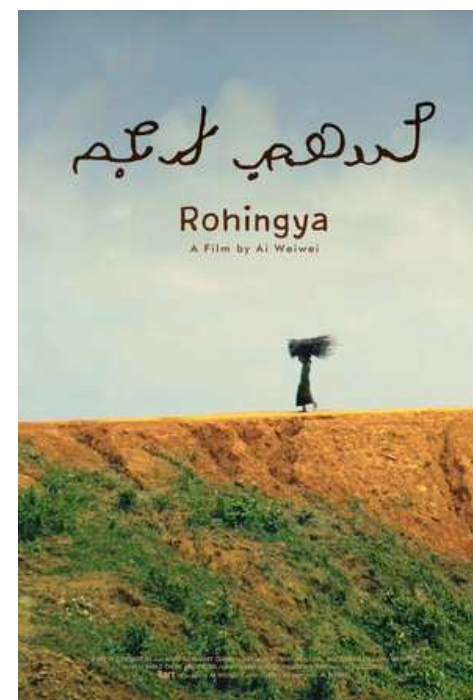
**オラファー・エリアソン
《太陽の中心への探査》**

本日の内容

- 世界史：現代の社会
- 90年代の美術
 - マルチカルチュラリズム
 - コンセプチュアリズムの展開
 - 90年代の映像表現
- 21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - **アジアの台頭**
 - アートマーケットとコンセプチュアリズム

アジアの台頭(1)

- 2002年のドクメンタ11では初のアフリカ出身者であるナイジェリア人のオクウィ・エンヴィゾーがディレクターを務めた。彼は「グローバリゼーション」を主題にし、多様な国から参加者を募り政治性・社会性の強い作品を多く展示した。
- また、2008年の北京オリンピックを前に急激な経済成長が進んだ中国では、ホアン・ヨン・ピン（黄永砫）やアイ・ウェイ・ウェイ（艾未未）などの作品が注目され、現在では中国の美術市場規模はアメリカに次ぐ世界2位となっている。



引用元：<https://www.aiweiwei.com/rohingya>

アイ・ウェイ・ウェイ（艾未未）
《ロヒンギャ》

アジアの台頭(2)



By Falkenreich - Own work, CC BY 2.5,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1058756>

ホアン・ヨン・ピン (黄永砵)

《100 Arms of Guan-yin (観音菩薩の100本の腕)》



引用元：<http://www.artnet.com/artists/zhang-xiaogang/>

ジャン・シャオガン (張曉剛)

《100 Arms of Guan-yin (観音菩薩の100本の腕)》

アジアの台頭(3)



引用元：http://www.zhanghuan.com/worken/info_71.aspx?itemid=974&parent&lcid=190

ジャン・ホアン（張洵）《池の水位をあげる》



引用元：
<http://www.sunyuanpengyu.com/works/2001/Civilization%20Pillar1.html>

スン・ユアン&ペン・ユー（孫原&彭禹）
《Civilization Pillar》

アジアの台頭(4)



引用元 : <https://faam.city.fukuoka.lg.jp/collections/2640/>

ファン・リジュン (方力鈞)
《シリーズ 2 No.3》



引用元 : https://www.saatchigallery.com/artist/yue_minjun

ユエ・ミンジュン (岳敏君)
《Backyard Garden》

アジアの台頭(5)



By Julian Stallabrass from London, UK - Do Ho Suh_5759-sm, CC BY 2.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=38449120>

ス・ドホ (서도호、Do Ho Suh)
《Bridging Home》



By dalbera from Paris, France - Oeuvre de Lee Bul (Kiasma, Kelsinki), CC BY 2.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=24673382>

イ・ブル (이불、Lee Bul)
《Mon grand récit : Weep into stones》

アジアの台頭(6)



引用元：<https://www.artsy.net/artwork/patricia-piccinini-the-young-family-3>

パトリシア・ピッチニーニ 《The Young Family》



引用元：<https://www.nguyen-hatsushiba.com/>

ジュン・グエン=ハツシバ

《MEMORIAL PROJECT MINAMATA: NEITHER EITHER NOR NEITHER - A LOVE STORY》

本日の内容

- 世界史：現代の社会
- 90年代の美術
 - マルチカルチュラリズム
 - コンセプチュアリズムの展開
 - 90年代の映像表現
- 21世紀の美術
 - 90年代からの継承と展開
 - アジアの台頭
 - **アートマーケットとコンセプチュアリズム**

アートマーケットとコンセプチュアリズム(1)

- 2008年のリーマン・ショックによって一時的に後退したものの、2000年代は経済成長著しい中国やロシアの資本、中東のオイルマネーが流入し、**アートマーケットが世界規模で急激に拡大した**時期でもある。
- 2003年に組織された**アートバーゼル**のほか、**上海、ドバイ、香港などの新興マーケット**で次々にアートフェアが開かれた。



By Louis-Fabrice Jean - Own work, CC BY-SA 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=18021503>

アートバーゼル

アートマーケットとコンセプチュアリズム(2)

- こうしたグローバル化、膨張化が加速的に進行したアートマーケットに対して、商業主義的傾向に対抗するように、**新しいコンセプチュアリズムの傾向を示す作家が数多く登場してきた。**



引用元 : https://kyoto-ex.jp/shows/2022_tino_sehgal/

ティノ・セーガル

(彼の指示をパフォーマーが実行する作品を制作する。指示の文面を含めた作品の記録を全く残さないことで知られる。)

アートマーケットとコンセプチュアリズム(3)



フランシス・アリス

《実践のパラドクス1 (ときには何にもならない
こともする)》



フランシス・アリス

《川に着く前に橋を渡るな》

ともに引用元：<https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/141/>

アートマーケットとコンセプチュアリズム(4)



引用元 : http://www.parasophia.jp/artists/susan_philipsz/

スーザン・フィリップス 《三つの歌》



By C.Suthorn / cc-by-sa-4.0 / commons.wikimedia.org (Note the three necessary links to author, licence and image file in the attribution.), CC BY-SA 4.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=65646076>

ウルス・フィッシャー
《Baked Master's Basket》

アートマーケットとコンセプチュアリズム(5)



引用元 : <https://www.operacity.jp/ag/exh252/j/exh.php>
ライアン・ガンダー 《編集は高くつくので》



引用元 : <https://www.youtube.com/watch?v=3ncrWxnxLjg>
ジェレミー・デラー 《オルグレーヴの戦い》

本日のまとめ(1)

- 東西の緊張が崩壊した後、**東側諸国の民主化**が進んだ。また、**グローバル化**により貿易が自由化した、その反面経済格差も広がった。
- 東西冷戦の二極構造が崩壊し、従来の西洋中心主義が見直された。その結果、**アジア・アフリカなど第三世界を受容**しようとする**マルチカルチャリズム**が生まれた。
- マルチカルチャリズムの浸透により、**文化的「他者」への関心**が高まり、**セクシュアリティを問題とした作品**が生まれた。また、90年代の美術において**YBAs**は象徴的である。

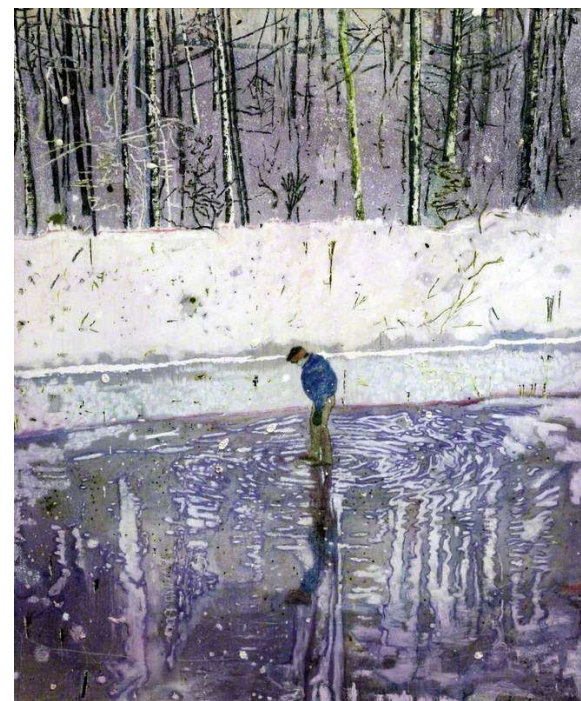


Felix Gonzalez-Torres Foundation 「Candy Works」 .
<https://www.felixgonzalez-torresfoundation.org/works/c/candy-works> (参照:
2022年9月8日)

フェリックス・ゴンザレス＝トレス
"Untitled" (Lover Boys)

本日のまとめ(2)

- 90年代の映像作品は、それまでの観念性や抽象性から離れて**物語性を求める**ようになった。
- 21世紀の美術は**絵画が豊饒な展開**を見せ、**ピーター・ドイグ**や**村上隆**などが評価された。
- 急激に経済成長した**中国は一大マーケット**となり、様々な表現が生まれた。
- **アートマーケット**が膨張し続けるのに反発するように**コンセプチュアルな作品**が多く生まれた。



引用元：<https://artuk.org/discover/stories/write-on-art-blotter-by-peter-doig>

ピーター・ドイグ 《Blotter》

おわりに

- 今回で西洋美術史ゼミは終了です！長い間聴講していただきありがとうございました！皆さんののおかげで美術史と世界史について体系立った理解をすることができました。
- 以前も少し言及しましたが、今後については勉強したいものができた場合に不定期で同様の形式の発表などを行おうと思います。まだ未定ですが、その場合は参加していただくと嬉しいです。



ロバート・インディアナ 《LOVE》